

暮らし向きについての質問では、「**苦しくなった**」と答えた人の割合は、**3年連続で増加**している。その理由を確認すると、「**家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから**」と回答した人の割合が**67.7%**と**3年連続で50%を超えた**。

1. 県民の生活全般について

1年前と比較した暮らし向きの実感（問2）（数値は当該回答をした者の割合）

	R4	R5	R6		R4	R5	R6
楽になった※1	6.8%	↓ 6.5%	↑ 6.7%	苦しくなった※2	39.2%	↑ 43.8%	↑ 45.6%

※1「とても楽になった」、「少し楽になった」の合計。 ※2「少し苦しくなった」、「とても苦しくなった」の合計。

POINT

- ・「**苦しくなった**」と答えた人の割合は**3年連続で増加**した。

暮らし向きの実感が「**苦しくなった**」と答えた理由（問4）（数値は当該回答をした者の割合、5つ以内で複数回答、上位3項目）

項目	R4	R5	R6
家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから	52.1%	↑ 61.8%	↑ 67.7%
給料や収益が増えない、または減少したから	66.1%	↓ 58.3%	↓ 58.2%
税金や保険料の支払いが増えたから	39.8%	↑ 43.5%	↓ 42.7%

POINT

- ・「**苦しくなった**」と答えた理由のうち、「**家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えたから**」と答えた人の割合が、**3年連続で増加**。

将来の奈良県での定住意向（問6）（数値は当該回答をした者の割合）

	R4	R5	R6		R4	R5	R6
住みたい※3	66.8%	↑ 68.9%	↓ 66.5%	住みたくない	6.1%	↓ 5.6%	↑ 6.5%

※3「ずっと住みたい」、「一度は県外へ出ても、奈良県に戻って住みたい」の合計。

POINT

- ・「**住みたい**」と答えた人の割合は**減少**した。

将来的に奈良県に「**住みたい**」と答えた理由（問7）（数値は当該回答をした者の割合、5つ以内で複数回答、上位3項目）

項目	R4	R5	R6
自然災害が少ないから	73.0%	↓ 70.9%	↓ 68.6%
緑などの自然環境がよいから	54.7%	↑ 56.1%	↓ 50.0%
奈良県や身近な地域に愛着を感じるから	43.6%	↑ 44.8%	↑ 46.8%

今後奈良県に力を入れてほしい分野についての質問では、「福祉・介護の充実」が県全体で第1位となり、40歳代以下では「こども・子育て支援」が第1位となった。

2. 奈良県が進める政策について

今後奈良県に力を入れてほしい分野（問9）（数値は当該回答をした者の割合、3つ以内で複数回答、上位5項目）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
県全体	福祉・介護の充実 43.4%	医療の充実 36.6%	インフラ整備 32.6%	防災・危機管理 29.6%	こども・子育て支援 27.2%
20歳代	こども・子育て支援 44.5%	防災・危機管理 32.9%	医療の充実 インフラ整備 ※4 31.1%	福祉・介護の充実 24.4%	
30歳代	こども・子育て支援 62.3%	医療の充実 36.5%	教育の充実 33.8%	インフラ整備 32.7%	防災・危機管理 20.0%
40歳代	こども・子育て支援 40.8%	インフラ整備 32.5%	福祉・介護の充実 医療の充実 ※4 31.3%	教育の充実 25.1%	
50歳代	福祉・介護の充実 46.5%	医療の充実 35.4%	防災・危機管理 インフラ整備 ※4 34.5%	地域公共交通の確保 27.3%	
60歳代	福祉・介護の充実 53.9%	医療の充実 39.7%	防災・危機管理 34.1%	インフラ整備 32.5%	地域公共交通の確保 27.9%
70歳代以上	福祉・介護の充実 57.3%	医療の充実 40.9%	地域公共交通の確保 35.7%	インフラ整備 31.3%	防災・危機管理 28.5%

※4 2つの選択肢の回答数が同じ

問10～問14（数値は当該回答をした者の割合）

設 問	拡充・現状維持※5	縮小・廃止※6
私立高校授業料の実質無償化制度について(問10-①)	81.2%	16.6%

※5 「さらに拡充すべき」、「現状のままで良い」の合計。 ※6 「縮小すべき」、「廃止すべき」の合計。

設 問	保育料無償化※7	保育等体制整備※8
保育料の無償化の範囲を広げるべきか(問11)	29.9%	67.0%

※7 「速やかに保育料の無償化を0～2歳児に広げるべき」、「どちらかといえば、速やかに保育料の無償化を0～2歳児に広げるべき」の合計。

※8 「どちらかといえば、0～2歳児に広げる前に保育等の体制整備を進めるべき」、「0～2歳児に広げる前に保育等の体制整備を進めるべき」の合計。

設 問	そう思う※9	そう思わない※10
奈良県が道路の新設や維持修繕にもっと力を入れていくべきか(問12)	89.3%	10.0%

※9 「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計。 ※10 「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計。

設 問	路線バス※11	新交通手段※12
山間部における地域公共交通の支援の方法について(問13)	42.5%	56.7%

※11 「路線バスへの支援を維持すべき」、「どちらかといえば、路線バスへの支援を維持すべき」の合計。

※12 「どちらかといえば、新たな交通手段への支援に切り替えていくべき」、「新たな交通手段への支援に切り替えていくべき」の合計。

設 問	そう思う※13	そう思わない※14
カーボンニュートラルの実現やGX(グリーントランスフォーメーション)による産業の競争力強化等に向けた取組を進めていくべきか(問14)	85.2%	12.8%

※13 「そう思う」、「どちらかといえば、そう思う」の合計。 ※14 「どちらかといえば、そう思わない」、「そう思わない」の合計。